

来週の『売り物』記事はこれ



2015年5月8日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

小5女兒と若き消防士 絶たれた未来

危険ドラッグ根絶に挑んだ父

10日(日)



危険ドラッグの吸引後とみられる死者は昨年だけで112人に達します。そして、恐ろしくも理不尽なことは、被害が乱用者のみにとどまらないことです。吸引後の暴走事故に巻き込まれ、4人が命を絶たれました。「犠牲者をもう出さないで」。我が子を失った悲しさ、怒り、悔しさを胸に、危険ドラッグの規制強化を国に訴えた遺族の足跡をたどります。販売業者の心ない嫌がらせに遭いながらも、遺族の苦心は「改正医薬品医療機器法」に結実しました。昨年12月の法施行後、危険ドラッグの販売店は激減し、ネット販売のサイトも相次いで閉鎖されました。しかし、本当に危険ドラッグは根絶されるのでしょうか。「あれほど売っていたものが、そう簡単に無くなるとは思えない」。遺族の不安は消えません。



日曜朝は『S』で始まる。ストーリーにご期待下さい。

なぜ今？本当に必要なの？

超党派のスポーツ議員連盟が導入を目指す「野球くじ」

夕刊2面特集ワイド 12日(火)



サッカーJ1の勝敗予想などをするスポーツ振興くじ「toto」の対象に、プロ野球を加えようという話が持ち上がっています。超党派の国会議員でつくるスポーツ議員連盟の発案ですが、プロ野球ファンや識者らに聞くと、決して評判は良くありません。そもそもプロ野球界には八百長で選手6人が永久失格処分を受けた「黒い霧事件」(1969年)という苦い記憶もあり、とばくの問題には敏感にならざるを得ませんが、なぜ「野球くじ」なのでしょうか。背景を探ります。

高野連技術・振興委員長 相沢孝行さんに[そこが聞きたい]

高校野球にタイブレーク制導入 いったい何が変わるの？

オピニオン面 13日(水)

高校球児の負担軽減などを「大義名分」に、「タイブレーク」制が春季地区大会から導入されようとしています。規定の回数が終わっても同点だった場合、両チームが無死一、二塁から攻撃し、決着がつくまで試合を続ける新ルールです。背景には、春夏の甲子園で延長戦が続き、選手の故障や健康への影響が指摘されてきたことがあります。一方で、高校野球の現場やファンからは「タイブレークで勝負を決めるのは違和感がある」といった慎重論も根強いようです。タイブレークの導入を推進してきた高野連技術・振興委員長の相沢孝行さんを直撃しました。



「知りたい」が分かる。

オピニオン面にご注目ください。

南スーダンの子供たち

夕刊社会面 11 日（月）から 3 回



2011 年に独立した世界で最も若い国、アフリカの南スーダンは、政権内の権力闘争から内戦状態にあります。暴力がまん延し、そのしわ寄せは子供たちに向かいます。4 月に日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんが同国を視察しました。教育も受けられず、希望も持てないなか、懸命に生きる子供たちの姿を報告します。

認知症の人の気持ち理解を

くらしナビ面 13 日（水）

高齢者の 5 人に 1 人は認知症という時代を迎えようとしています。徘徊（はいかい）や妄想など「認知症になると大変」といった負のイメージが先行し、「認知症の人の気持ちが理解されていない」と精神科医の高橋幸男さんは危惧しています。病気を理解しているからこそ不安や孤独感を抱える認知症の人たちに、どのように接すればよいかを聞きました。



衣・新郎新婦の母の装い

くらしナビ面 12 日（火）



わが子の結婚式に洋装で出席したいという女性が増えているそうです。一般的とされてきた黒留め袖も、和装のマナーが「一般常識」ではなくなった今の時代、間違えてしまうことも。「洋装のマナーに自信がない」という読者も、少し理解し、自信を持って着れば素敵に着こなせます。プロパーソナルスタイリスト、政近準子さんにアドバイスをいただきました。

圧倒されたアメリカ映画

朝刊文化面 16 日（土）

作家の長部日出雄さん＝写真＝がエッセー「映画と私の昭和」で取り上げるのは 1945 年、戦後最初に封切られた米国映画「春の序曲」。43 年に制作された音楽映画で、画面に現れたニューヨークの摩天楼の夜景に象徴される「物質的な富の量」は、敗戦国の人々を圧倒しました。また筆者は、ヒロインの若手歌手がロシア民謡を歌う場面に、米ソがともにナチス・ドイツと戦っていた時代を読み取ります。



本因坊戦が開幕

社会面 14（木）～15 日（金）



井山裕太本因坊に山下敬吾九段が挑戦する第 70 期本因坊決定戦七番勝負（毎日新聞社、日本棋院、関西棋院主催、大和証券グループ協賛）は 13、14 の両日、第 1 局が静岡市の浮月楼で行われ、開幕します。井山本因坊が 4 連覇を果たすか、3 年ぶりに登場の山下九段が通算 3 期目を獲得するか。両者は今年、棋聖戦でもぶつかり、4 勝 3 敗で井山が防衛する死闘を演じました。対決が注目されます。